

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	ICU 患者におけるせん妄発症と抗コリン薬リスクスケールの関係性に関する調査研究			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2028年3月31日			
③ 対象患者	対象期間に救急救命センター-ICU (AMEC3) に入室された患者さん			
④ 対象期間	2024年9月1日 から 2024年11月30日 なお、追跡期間として2024年12月31日までの情報を収集する			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	第三内科 第二内科 第一内科 脳神経内科 呼吸器・感染症内科 精神科神経科 小児科 第一外科 第二外科 整形外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 産科婦人科 麻酔科蘇生科 脳神経外科 歯科口腔外科 先進救急医療センター			
⑦ 研究責任者	氏名	小山 勝真	所属	薬剤部
⑧ 使用する情報等	AMEC3入室時の年齢、性別、体重、原疾患、合併症、既往歴、現病歴、前治療、CAM-ICUによるせん妄評価、使用薬剤、身体拘束の有無、バーサルインデックスによるADLの評価、機能的自立度評価表、集中治療室活動度スケール、クレアチニン、eGFR、BUN、AST、ALT、 γ -GTP、予後・転帰			
⑨ 研究の概要	<p>集中治療領域においてせん妄発症は入室期間の延長や、身体拘束が必要となるなど、患者さんに対する不利益が生じます。また、抗コリン薬はせん妄を引き起こす薬剤とされています。2024年に抗コリン薬リスクスケールが発表されましたが、抗コリン薬の強さとせん妄の関係性が明らかにされておらず抗コリン薬リスクスケールを用いたリスク管理ができていないことが課題となっています。</p> <p>そこで本研究では、入院中に得られた情報をもとに、集中治療領域におけるせん妄発生リスクと抗コリン薬リスクスケールとの関係性を明らかにすることを目標とします。</p> <p>抗コリン薬リスクスケールを用いて、AMEC3入室中に使用したすべての薬剤の抗コリン負荷の定量評価を行います。</p> <p>⑧の使用する情報等を用いて、薬剤の抗コリン負荷の評価と実際のせん妄発症との関係を明らかにすることで、抗コリン薬リスクスケールを用いたリスク評価が行えるようになり、集中治療領域におけるせん妄発症を減ら</p>			

	すことができる可能性があります。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026年4月30日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	薬剤部の運営費			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 薬剤部 担当者：小山勝真			
	電話	0836-22-2669	FAX	0836-85-3751